

平塚市総合計画第1次実施計画事業評価の意見に対する考え方

対象となる事業名等	事業担当課	意見集約	事業担当課の考え方	平成21年度の取組
駐輪場整備促進事業 放置自転車等対策事業	くらし安全課 直接、整備を担当するまちづくり事業課にて考え方を作成	西口東地駐輪場の建設について ・近隣住民の説明会を開催してから事業を進めるべきである。 ・プライバシーへの配慮を行っていただきたい。	平塚駅周辺には、数多くの自転車、バイクが集中し、駐車台数を大幅に超過した自転車、バイクが歩道上に駐車しています。これは駐輪対策の基となる収容施設が確保されていないことにあり、計画的な自転車及びバイクの駐車を整備することが急務となっています。そのため、平塚駅周辺放置自転車対策及び自転車駐車場の再整備計画を作り、その第一段階として西口東地へ自転車・バイク駐車を建設するものです。今回、近隣の方への事業説明については、平塚市開発事業指導要綱に基づき、事業計画の内容を記した関係図書を配布、周知させていただき、自治会からの要望による説明会も行ってきました。ご意見としていただいた、階数の変更や、地下化など事業費が大きく変わる内容については、前述の主旨や、経済的な観点から、ご要望に沿うことができないことをご理解ください。また、貴マンションと、計画建物との位置関係や、距離、用途地域などからプライバシーの侵害にはあたらないと判断しています。なお、不審者対策については、建物内部に防犯カメラの設置や、管理人による巡回を実施していきたいと考えていますので、ご理解ください。	平塚駅周辺の自転車駐輪場の必要性を再認識し、整備に向けた課題解決に努めてまいります。
ホームレス自立支援事業	福祉総務課	脱ホームレス数が25名を達成したことは素晴らしいが、次のことについて伺いたい。 ・平成19年度目標値「25名」とした根拠は。 ・居住の確保を行った後のフォローアップをどのように行っているのか。(働くことができるようになど) ・「平塚市ホームレス自立支援の取り組み方針」は、公開されていないのか。 ・事業費の内訳720千円の内容(具体的な支援内容)は。	平成19年度の目標値については前年度の脱ホームレス数としました。支援に繋がるホームレスは年々減少している状況があり、同数の維持については難しいのが現状です。 ・住居の確保後については、生活保護の受給により生活維持をしていくことが多く、生活保護受給中に就労指導員から就労指導を行い、自立生活に近づけていくこととなります。しかしながら、ホームレスの多くが高齢化しており、また疾病を抱えていることから就労に繋がりにくい状況にあります。 ・平塚市ホームレス自立支援施策の取り組み方針につきましてはホームページに掲載します。 ・事業費につきましては、月に2回行っております巡回相談員の人件費として計上されています。	世界的な不況の中、平塚市においてはホームレス数の増加が確認されており、一人でも多くのホームレスが自立生活につながるよう従来の巡回相談を効果的に実施するとともに、生活保護制度を活用しながら、その自立を支援してまいります。
高齢者・障害者のごみの戸別収集事業	環境業務課	・高齢者や障害者向けの素晴らしい事業であるため、事業の拡大(福祉部門との連携)をしてほしい。 ・申請手続やサービス内容を多くの人に知ってもらえるよう広報を充実してほしい。 ・手続の方法が公開されているのか。 ・どのように申し込めばよいのか。	・少子高齢化や核家族化など社会情勢に合わせ安心できる生活支援策として、事業の継続及び利用者増に対応できるようにしていきたいと考えています。実施にあたっては、福祉部門と連携をとり、共同事業として取り組んでまいります。 ・市民との仲介相談役となる民生児童委員、地区社会福祉協議会、町内福祉村など関係者、団体へ周知をしていきます。また、福祉相談窓口や広報などで制度の紹介をしていきます。 ・早急に対象者や申請の方法を公開していきます。 ・現在は、市の福祉(高齢、障害)担当課としていますが、居住地の民生委員、地区社会福祉協議会、町内福祉村などに相談できるようにしてまいります。	・利用者増加への対応や、収集サービスの拡充を進めてまいります。 ・事業内容や申請手続の方法を、福祉部門(関係部署、民生委員など)と連携して紹介してまいります。

対象となる事業名等	事業担当課	意見集約	事業担当課の考え方	平成21年度の取組
遊歩道・自転車道ネットワーク推進事業	商業観光課	<p>・サイクリングの参考にするためには、情報が足りない。道路を管理する部門と連携し、危険箇所の改修やバリアフリーなどへの対応を考えてほしい。また、トイレ(障害者用を含む。)の情報、主な地点間の距離なども載せてほしい。</p> <p>・他のホームページとのリンク(記念碑について博物館のホームページとのリンク)など利便性を考えていただきたい。</p>	<p>遊歩道・自転車道ネットワークは、市内の自然や史跡、公共施設などを徒歩や自転車で楽しんでいただくため、参考となるコースをお知らせしているものです。コースには、山や丘陵のハイキングを楽しんでいたコースと、概ね市内全域を対象とした「やすらぎ回廊」コースがあります。</p> <p>この「やすらぎ回廊」コースは、平成16年度に市民の方を中心とした「やすらぎ回廊推進委員会」により選定していただいたものです。コースは6種類があり、いずれも利用される方がそれぞれ的手段により、風景などを自由に楽しんでいただくための目安として、観光マップ等に表示したものです。したがって、トイレや休憩所などは、公民館や公園などを利用していただくことを想定しています。</p> <p>今後、多くの方に利用していただくため、マップの表示方法やホームページの改善などを進めていきます。</p>	<p>道路の安全対応については、道路管理者と連絡を密にし、トイレの図示については、わかりやすいように順次修正を行います。また、多くの方に利用していただくため、マップの表示方法やホームページの改善などを進めてまいります。</p>
次期環境事業センター及び周辺地域整備事業	資源循環課	<p>・人口の将来予測について差異が大きい。将来人口予測の見直しが必要ではないか。</p>	<p>次期環境事業センター整備事業は、循環型社会形成推進交付金対象事業であることから、人口の将来予測、ごみ排出量の推計は国、県が認める推計値を用いることが必要となります。そのため、人口の将来予測のデータとして、総合計画策定時に推計をした人口を用いております。</p>	<p>この人口の将来予測をもとに事業を確実に実施してまいります。</p> <p>なお、今年度はDBO(公設民営)方式を導入するために、募集要項の作成、事業者選定等のアドバイザリー業務を委託し、工事業者を選定します。また、神奈川県環境影響評価条例に基づく予測評価書等を作成します。</p>
博物館特別展事業	博物館	<p>20年度夏期特別展(平塚市博物館こだわりの100選)を拝見し、次のように感じた。</p> <p>・多くの人に知ってもらえるよう広報の充実してほしい。</p> <p>・授業中で見てもらえるよう期間を延長してほしい。</p> <p>・展示品の解説書について、わかりやすい解説書にしてほしい。</p> <p>・展示されていない多くの品についてインターネットで見れるようにしてほしい。</p> <p>・ホームページにおいて検索機能を追加してほしい。</p>	<p>・広報紙、報道発表、ホームページ、ポスター等さまざまな手段で広報していますが、一般のメディアに取り上げていただく機会を増やすべく方法を模索しています。さらにきめ細かな広報ができるよう、努力します。</p> <p>・今回の特別展の開催時期は、児童が自由に活動し、勉強できるという狙いであえて夏休みに設定しました。期間は他の事業との兼ね合いや、展示資料の保護の観点で決めています。</p> <p>・今回の特別展では、冊子の図録の刊行に代えて無料配布のパンフレットを8ページに増やし、充実させました。窮屈な構成でご不便をおかけしましたが、多くの方に手軽に利用いただけるようにという意図です。また本特別展は所蔵資料の多様性をご覧いただく趣旨のため、会場内でも体系的な解説は省かせていただきました。より詳しい解説をご希望の方には館内に展示解説ボランティアもおりますのでぜひご活用ください。</p> <p>・9月に今回の特別展示の100点をホームページ内でご覧いただけるようにしました。これからも展示の成果を反映しながら、ホームページの充実にも努めます。</p>	<p>博物館事業の広報を充実するため、ポスター制作等を引き続き実施し、広報掲示板、公民館、小中学校等へのポスター配布による周知を実施する予定です。また、市広報への掲載、新聞報道発表等をお願いしていく所存です。ホームページにつきましては、各種の行事、展示の内容を反映できるよう、コンテンツの充実にも努めます。さらにどのような検索機能が使いやすいか、調べてまいります。展示の解説書につきましては、よりわかりやすく読みやすくするよう工夫してまいります。</p>